

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	ME技術演習Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	宮本 吉孝	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
生体計測装置学、医用治療機器学、生体機能代行装置学、医用機器安全管理学など、工学的特性や現象を含めた医学系専門科目の理解を深め、復習および演習を行なう。国家試験および第2種ME技術実力検定試験の練習問題を実施し、問題解答力を身につけることを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験： 70 % 4. 授業態度： 10 % (小テスト評価を含む) 出席率： 20 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント配布						
《授業外における学習方法》						
国家試験および第2種ME技術実力検定試験の過去問題の演習ならびに復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験や第2種ME技術実力検定試験合格のみならず、資格取得後の応用性や実用性のある学問として、一定水準の問題解決力を身につけてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体計測装置学 誤差、有効数字関係の解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習	
		各コマにおける授業予定	生体計測装置学 誤差、有効数字関係の演習、解説を行う。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体計測装置学 誤差、有効数字関係の解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習	
		各コマにおける授業予定	生体計測装置学 誤差、有効数字関係の演習、解説を行う。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	各種医用治療機器に関連する解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習	
		各コマにおける授業予定	各種医用治療機器に関連する問題演習および解説を行う。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	各種医用治療機器に関連する解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習	
		各コマにおける授業予定	各種医用治療機器に関連する問題演習および解説を行う。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体機能代行装置(呼吸療法装置)に関連する解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習	
		各コマにおける授業予定	生体機能代行装置(呼吸療法装置)に関連する問題演習および解説を行う。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体機能代行装置(呼吸療法装置)に関連する解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習
		各コマにおける授業予定	生体機能代行装置(呼吸療法装置)に関連する問題演習および解説を行う。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体機能代行装置(体外循環装置)に関連する解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習
		各コマにおける授業予定	生体機能代行装置(体外循環装置)に関連する問題演習および解説を行う。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体機能代行装置(体外循環装置)に関連する解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習
		各コマにおける授業予定	生体機能代行装置(体外循環装置)に関連する問題演習および解説を行う。		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体機能代行装置(血液浄化装置)に関連する解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習
		各コマにおける授業予定	生体機能代行装置(血液浄化装置)に関連する問題演習および解説を行う。		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	生体機能代行装置(血液浄化装置)に関連する解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習
		各コマにおける授業予定	生体機能代行装置(血液浄化装置)に関連する問題演習および解説を行う。		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理や安全基準ならびに電気的安全性に関連する解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理や安全基準ならびに電気的安全性関連する問題演習および解説を行う。		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	医用機器安全管理や安全基準ならびに電気的安全性に関連する解答力を得る。	配布プリント	過去問題の演習
		各コマにおける授業予定	医用機器安全管理や安全基準ならびに電気的安全性関連する問題演習および解説を行う。		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験や第2種ME技術実力検定試験レベルの演習問題が解けるようになる。	配布プリント	これまで配布した資料の見直し。
		各コマにおける授業予定	総合的な問題演習を行い、理解の習熟をはかる。		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験や第2種ME技術実力検定試験レベルの演習問題が解けるようになる。	配布プリント	これまで配布した資料の見直し。
		各コマにおける授業予定	総合的な問題演習を行い、理解の習熟をはかる。		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験や第2種ME技術実力検定試験レベルの演習問題が解けるようになる。	配布プリント	これまで配布した資料の見直し。
		各コマにおける授業予定	総合的な問題演習を行い、理解の習熟をはかる。		